

津山市地域公共交通の活性化及び再生に関する協議会（第6回）会議録(要旨)

平成 22 年 5 月 20 日 14:00～14:40

中央公民館 1 階 大研修室

1 開会（事務局）

2 会長あいさつ

会長、所用により退席、進行は副会長がつとめる。

3 報告事項

(1)第4回協議会

（事務局） 議事録に基づき前回第5回協議会について報告。

冒頭、市長交代に伴う会長交代について承認を受ける。

報告事項として、前回協議会、パブリックコメント、岡山大学との共同研究について報告。前回協議会については、パブリックコメントに向けての修正点、パブリックコメントについては、意見による修正点等、共同研究については橋本先生のコメントもいただき、今後のPDCAサイクルによる見直しについて報告し、承認を受けた

協議事項に入り、「連携計画」については、前回協議会・パブリックコメントによる修正点を説明。

「活性化・再生総合事業」については、計画書により内容・スケジュールを説明、合わせて国への認定申請状況について説明、「今後のスケジュール」についてはH22年度の当初予定を説明し、承認を受けた。

(2)連携計画事後評価

（事務局） 「地域公共交通総合連携計画」を含む「地域公共交通活性化・再生総合事業」については、その適正な執行を図るため実施要領に基づき第三者による事後評価を実施することとされており、昨年度策定した「津山市地域公共交通総合連携計画」についても協議会の事業実施状況を踏まえて事務局において自己評価を作成し、2月に広島において第三者評価を受けた。資料3はその結果。

目標設定、バスサポーター制等の取組、地域協議等が一定の評価を受けた。

(3)補助事業経過

（事務局） 前回協議会においてご説明したが、3月25日付でH21年度の計画策定事業について実績報告を提出、あわせて、H22年度以降の活性化・再生事業について認定申請を提出した。H21年度事業については4月12日付で交付決定額940万円の確定通知を、H22年度以降の事業については現在認定決定を待っている状況。具体的な補助金額については認定後、交付申請を経て確定する。詳細については協議事項の予算のところでも説明する

（副会長） 質問、意見等はないか。 なし 承認

4 協議事項

(1)事業報告・決算

ア 平成21年度事業報告

（事務局） 策定経過の資料を参照。H21年度については、地域公共交通総合連携計画の策定のため、協議会を5回、幹事会を3回、分科会全体会を2回、分科会分会を5地域で2回ずつ計10回開催。内容については、詳細版資料の計画の末尾の資料編の中に掲載。

策定業務についてはプロポーザル方式より業者選定を実施。(株)福山コンサルタントに発注した。

内容については詳細版の方の計画の中に掲載。市民意見の徴収については、分科会分会協議とは別に7月にアンケート、2月にパブリックコメントを実施した。

策定にあたっては、策定経過にあるように、市当局、市議会と進捗状況にあわせて協議・報告を実施して進めた。あわせて、市広報記事により進捗状況について市民周知を図った。

次に薄い方の計画書の表紙をご覧ください。本計画については協議会において策定したが、法上策定者は市町村となっているためこのような表記としている。巻頭言につきましては実際の策定にあたった協議会の会長として市長のあいさつとさせていただきます。

また、計画は本編と資料編、概要版という構成とさせていただきますが、その後の国との協議

により、概要版を計画本編、当初の本編についてはその詳細版と資料編という扱いとさせていただいているので、よろしくお願ひしたい。

計画について、確認の意味でその概要を説明。

まず基本方針ですが、厳しい財政環境下で維持・継続できる体系とすることを目的とし、効率的再編をし、わかり易い体系とすること、また、利便性を向上させることで利用を促進することを目指すものである。

次に計画の骨格となる部分です。地域毎の提案の具体的な内容ですが、阿波地域については加茂地域との重複・競争を回避した一体的な再編、福祉バスの別手法(過疎地有償運送)の検討、スクールバスの効率的な活用等。加茂地域については、阿波地域との重複・競争を回避した一体的な再編、路線バスのごんごバスとの重複の解消・非効率な路線の別手法の検討、ごんごバスの折返し運行による増便等。勝北地域については、ごんごバスの折返し運行による増便・奥津川地区への延伸等。久米地域についてはごんごバスの折返し運行による増便、福祉バスの別手法(デマンド乗合方式)の検討等。旧津山地域については西循環線の充実、ごんごバスの路線見直し・充実、街中の小循環線、周辺地域でのデマンド乗合方式の検討。全市的な関連のある項目では受益者負担の適正化、結節点停留所の整備、PDCA サイクルを確立しての定期的な見直し等をあげている。

具体的な事業の主なものについては、点目として福祉バスを地域の実情に応じた運行とし、また、有料化とすること 点目として支所間ごんごを病院あるいは商業施設での折返し運転とすることで増便すること 点目として中心部に低床のループバスを運行すること 点目として阿波バスを廃止して、民間運行とすることが主なものである。

P11のように、これらの事業をこのスケジュールで H22~24 にかけて実施していくという内容となっている。

イ 平成 2 1 年度決算

(事務局) H21 年度決算書について、まず歳入は、負担金については予算現額 4,700 千円に対し収入済額 4,700 千円で津山市からの負担金である。補助金については予算現額 9,400 千円に対し収入済額 9,400 千円で国庫補助金。繰越金については最初の年度のため無く、諸収入については、収入済額 1,169 円で預金利子。収入合計が 14,101,169 円。

歳出は、運営費の内会議費について予算現額 1,399 千円に対し支出済額 887,399 円で委員報酬、会場費等。事務費については予算現額 40 千円に対し支出済額 44,455 円で補助事務説明会参加費等。事業費については予算現額 12,432 千円に対し支出済額 12,630,945 円で、連携計画策定委託、地図情報加工委託等。支出合計は 13,562,799 円。収入合計から支出合計を差引いた 538,370 円が決算額で、H22 年度会計へ繰越予定である。

決算については以上で、引続き H21 年度決算について監査報告をお願いしたい。

ウ 監査報告

(監査) 平成 2 1 年度津山市地域公共交通の活性化及び再生に関する協議会歳入歳出について監査を実施したところ、出納簿、預金通帳及び証憑書類共その扱いは適正かつ正確であったと認める。

(副会長) 質問、意見等はないか。 なし 承認

(2) 事業計画・予算

ア 平成 2 2 年度事業計画

(事務局) 2 2 年度については、本日が予算についての定例協議会である。今後、事業進捗により必要に応じて分科会分会、協議会の開催をお願いできればと考えている。

本年度の具体的な事業については、もう一度計画書をご参照いただきたい。阿波地域については過疎地有償運送の実施、阿波バス・スクールバスの見直し、加茂地域についてはごんごバスの折返し運行による増便、黒木線の見直し、福祉バスの有料化、勝北地域についてはごんごバスの折返し運行による増便と奥津川への延伸、福祉バスの有料化、久米地域についてはデマンド乗合方式の検討、旧津山地域については小循環バスのアルネ前バス停整備、循環ごんごの見直し、高杉団地へのごんごバス乗入、周辺部デマンド乗合方式の検討を予定している。

イ 平成 2 2 年度予算(暫定)

(事務局) 2 2 年度予算の歳入ですが、負担金は 2,667 千円で津山市からの負担金。補助金は 11,419 千円で活

性化・再生総合事業に伴う国庫補助金。繰越金 538 千円は前年度繰越金。諸収入 1 千円は預金利子。

歳出について、運営費の内会議費 767 千円は委員報酬・会場費等。事務費 300 千円は、手数料と活性化・再生総合事業の視察旅費等。事業費 12,219 千円は、実施計画の委託料、加茂・勝北の折返し運行経費、阿波過疎地有償運行経費・久米デマンド運行経費、アルネ前停留所整備経費である。

なお、本年度は市の当初予算は市長選に伴う骨格予算のため、6 月補正予算の確定は 6 月末となること、また、国の補助手続きが例年より若干遅れており、現在認定申請中で、交付申請等も 6 月以降となる見込み。それぞれが確定する 7 月以降を待っているのは本年度の事業展開に支障も想定されるため、暫定予算として承認いただき、事業着手し、それぞれの確定に伴い必要に応じて補正等で対応させていただきたいと思っている

(副会長) 質問、意見等はないか。

(委員) 第一病院とアルネの停留所のイメージはどのようなものか。

(事務局) 第一病院については、バス停の整備ができていたため既設のものを使用。病院側にも承認を得ており、更に充実することも可能と聞いている。アルネについては、西口・南口・陸橋の下あたりが候補になると考えられるが、西口の面している道路は都市計画道路ということで整備が難しい。南口も難しいため、陸橋の下にできないかと考えている。市では、22 年度に具体的に予算要求をしているが、国の補助については不透明な状況である。

(副会長) そのほか質問、意見等はないか。 なし 承認

5 その他

(副会長) その他に意見はないか。 なし。

7 閉会(副会長)